

ワーキングメモリ

今回は原点に立ち返りの『ワーキングメモリ』について紹介します。

ワーキングメモリ（作業記憶）は、頭の中で情報を保持し、さらに同時処理する能力です。簡単に言えば「～しながら」色々なことをするというものです。このワーキングメモリは、私たちの日常生活に大きく関わっているんです。例えば会話。何気なくしている会話ですが、ワーキングメモリがフル活用されています。相手の話を聞きながら、表情を見ながら、過去のことを思い出しながら、自分が話すことを考えながら、時間を気にしながら・・・などなど。

さらにこのワーキングメモリは、運動や学習にも多大な影響を及ぼすとの研究結果が出ています。文章を読みながら、問題を頭に浮かべながら、解答を導き出す・・・。

他にも、「抑制」「計画性」「短期記憶」「ボディイメージ」など様々なものに影響を与えているワーキングメモリ。このワーキングメモリを鍛えることで、様々なことができるようになり、チャレンジできるようになります。

クォーレでは、このワーキングメモリを鍛えるためのプログラムを、日課だけでなく運動、学習にも取り入れて困り感の解消をしています。

- ・ 広島古市教室 082-877-9001
- ・ 広島五日市教室 082-943-9001
- ・ 広島田方教室 082-507-0390
- ・ 広島彩が丘教室 082-926-3906
- ・ 広島五日市児童発達支援専門教室 082-943-9001



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

4年目を迎えた「ナデシコ」をお読みいただき、ありがとうございます。また、教育相談では、保護者の方々にお会いしお子様への深い愛情と想いにふれ、様々な事を学ばせていただいています。今年も、よろしくお願いいたします。

特別支援教育が法的に位置づけられ15年が経過し、様々な発達障害への理解が進み制度が整ってきましたがお子様への悩みは尽きないものがあると思います。今年も子育てのヒントだけでなく制度についてもQ&Aでお答えしていきたいと思っています。

Q1：相談や病院、学校に行くと何回も同じ質問をされて困ります。

A 学校では個別の指導計画（個別の教育支援計画）が作成され、学年が上がり担任が変わっても切れ目のない支援が行われますが、他機関については母子手帳に記入したり、成長記録を独自に作成される方もおります。でも、広島市には「サポートファイル」があります。市内3か所のこども療育センターで無料配布されていますし、広島県HPからダウンロードできます。この「サポートファイル」では、お子様との日々のかかわりや病院、福祉機関、保育園や幼稚園、学校等で受けている支援内容を綴り、記録保管するものです。何度も説明する必要がなく、福祉サービスの更新時にも役立ちます。

また、これによりお子様の地域での一貫した継続的な施絵が可能だけでなく病気や通院記録を記入すると障害基礎年金の申請時に役立ちます。成長記録として活用されている保護者もおられるようです。

お知らせ

クォーレプレミオが設立され新体制となりました。
教室はHPをご覧ください。

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

